



豊里

### 安全で安心なまちを目指して

「令和2年度東北防犯協会連絡協議会長・東北管区警察局長連名表彰授与式」は8月24日、登米警察署で開かれ、森脇崇登米警察署長から豊里地区防犯指導隊(中沢文博隊長)へ褒状が授与されました。

同指導隊は平成18年2月に発足し、コミュニティ団体などと連携して計画的でかつ積極的な防犯活動を推進してきました。中沢隊長は「安全で安心なまちづくりに、なお一層尽力していきたい」と力強く述べていました。

### 米山の野球魂を次世代に継承

「米山町世代交流野球大会」(同実行委員会主催、千葉貴広実行委員長)は8月13日、米山町吉田運動場で開催され約80人が参加しました。

米山地区では、毎年お盆の時期に行政区野球大会を開いていましたが、今年は参加人数を減らし、20歳代~40歳代を世代ごとに4チームに分けて開催。熱い声援の中、気迫もった真剣勝負が展開され、参加者は試合を通して交流を深めました。



米山



迫

### 技術向上で今後の活躍に期待

迫町ジュニア・リーダー「青びつき」の技術研修会(迫町子ども育成連絡協議会主催、佐々木順会長)は8月8日、迫公民館で開かれ、ジュニア・リーダー7人が参加しました。

研修会ではボランティアサークル「ぴいす☆かんぱにい」から講師を招き、子どもが楽しめるゲームやダンスなどを学びました。参加者は、「コロナが落ち着き、今後活動できるようになったときに学んだ技術を生かしたい」と今後の活動に向けて意欲をみせました。



石越

### 野球を通し地区交流を深める

「第16回登米市石越地区対抗野球大会」(石越地区体育協会主催、千葉惇夫会長)は、8月15、16の両日、石越総合運動公園野球場で開かれ、約110人が参加しました。

お盆の恒例行事になっている野球大会は石越地区の住民の他、中学生以上の地区出身者も出場が可能。今年は6チームによるトーナメント戦で競い合いました。焼けるように暑い炎天下での試合でしたが、暑さに負けない活力あふれる試合を繰り広げました。

### 安全と健康伝える声掛け運動

「登米町わらすこかたり隊による声掛け運動」(登米町老人クラブ連合会主催、佐藤政孝副会長)は8月20日、登米小学校周辺で実施され、13人が参加しました。

声掛け運動は交通安全への意識向上が目的。隊員は、校門、交差点など小学校の周辺5カ所で、交通安全啓発ののぼり旗を設置して、児童に交通安全や熱中症の注意を呼び掛けました。隊員の親身な呼び掛けに、児童は元気よくあいさつしていました。



登米

### チョウ通して自然環境づくり

東郷地区コミュニティ推進協議会(伊藤幹生会長)では、自然環境づくり事業として準絶滅危惧種に指定されている国蝶オオムラサキの飼育に取り組んでいます。

オオムラサキの幼虫は夏から秋にかけて成長し、落ち葉の中で越冬して6月下旬から羽化。今年は25匹が飼育ハウス内を飛び交う様子が東郷公民館の利用者を楽しませました。これからも、より多くの幼虫が羽化できるようにオオムラサキが過ごしやすい環境づくりを目指します。



南方



東和

### ボートに揺られながら川下り

「北上川川下り大冒険」(米谷公民館主催)は8月23日、上沼船着き場を会場に開かれ、16人が参加しました。

参加者はオールを使い方などボートの操作方法について指導を受けた後、カヌーとローボートに乗り込み北上川に漕ぎ出しました。ほとんどの参加者が初体験の川下りでしたが、講師に教わりながら、少しずつ操作に慣れ、水上散策。参加者からは、また来年も参加したいという感想が多く寄せられました。



津山

### 伊達政宗の実弟小次郎を学ぶ

講話「政宗の弟小次郎と傅役小原縫殿(之)助について」は8月4日、津山公民館で開かれ、13人が参加しました。

講話は半澤秀雄氏を講師に開催。半澤氏は白石市の生まれで、小原氏の居城が家の近くにあったことから興味を持ち研究を始め、津山町にある小次郎と養育係の縫殿(之)助の墓も何度か訪問しています。小次郎の生死については諸説あり、他に兄弟が生存しているとの持論を講話。参加者は430年前の伊達家の出来事に思いをはせていました。

### アイスで交通事故凍結目指す

「夏の交通事故凍結(アイス)大作戦」(中田町交通安全団体連絡協議会、小野寺篤朗会長)は8月1日、中田町宝江のカフェレストラン「花蓮」前で実施され、佐沼警察署や、交通安全関係団体から28人が参加しました。

凍結(アイス)大作戦は7月21日から8月20日までの夏の交通事故防止運動の一環として実施。交通事故を凍結しようとアイスシャーベットや交通安全啓発チラシをドライバーに配り、交通安全意識の高揚を呼び掛けました。



中田